



創立153周年

7月号（令和8年6月30日発行）

kurosho-dayori

鉄小だより



鉄小学校ホームページはこちら→

通学路の先にあるもの

副校長 川本 佳織

6月24日（水）、4年生と一緒に「染色体験・宮ヶ瀬ダム見学」に行きました。（当日の様子は、鉄小学校ホームページでご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。）体験や見学を通して感じたことを、子どもたちがそれぞれ元気にいきいきと話す姿が、とても印象的でした。楽しく充実した一日となりました。移動のバスの中では、4年1組の子どもたちが、自分たちで選んだ曲を替え歌にしたクラスソングを歌っていました。その中に、



♪僕らまた それぞれの通学路を 歩き始めたのさ その先にある 学校の中で会えたら♪

という歌詞がありました。「通学路とは、心に残る特別な思い出の一つだな」と感じ、自分の小学生時代を思い出しました。私は山形県の庄内平野で育ち、2.5kmの道のりを、晴れの日も吹雪の日も毎日歩いて登下校していました。本校にも長い通学路を、田んぼを見ながら歩いてくる子どもたちが多く、親しみを感じています。

翌日の6月25日（木）には、鉄小学校スクールゾーン対策協議会が開催されました。PTA校

改善報告

昨年改善された案件、一部をご報告します。

上麻生新道（県道12号）沿いにある畑を囲っていた有刺鉄線、歩道側を撤去していただきました。



畑の周囲、一部が有刺鉄線になっていて危険なので、通学路側だけでも撤去するなどの対応をお願いしたい。



外委員の皆様のご尽力により、青葉警察署や区役所、土木事務所の方々、各自治会長、民生児童委員、学援隊隊長、地域コーディネーター、キッズクラブ主任、PTA運営委員の皆様が一堂に会し、スクールゾーンの危険箇所改善について話し合いました。

資料をもとに、一つ一つの場所や状況を丁寧に確認しながら対応策を検討する中で、子どもたちの安全

を守りたいという皆様の強い思いを感じ、胸が熱くなりました。また、このような取組の積み重ねによって、スクールゾーンの環境が年々改善されていることも実感しました。

本校の子どもたちは、多くの方々に見守られながら、温かな地域の中で安全に健やかに育っています。子どもたちの思い出が光り輝き、この地域を愛する次世代の担い手へと成長していくことを心から願っています。